

# ネイチャー・ウォーク

令和2年1月号  
2020.1.19発行  
(通巻第313号)

ECO  SAITAMA

公益財団法人  
埼玉県生態系保護協会

部会：自然を歩く会

## ■12月のネイチャー・ウォーク

### 行けば鳥飛び寒さも吹っ飛ばす かぞえてみよう今日の鳥

(東武伊勢崎線・加須駅～花崎駅)

今回は東武伊勢崎線・加須駅から花崎駅までを歩く約8kmのコース。12月22日の冬至の寒い中ではありましたが、21名の参加者がありました。たくさんのヒドリガモがいた加須はなさき公園で記念撮影です。





青木加須支部長よりご挨拶をいただきました

今回は、コースが加須市ということもあり、エコさいたま加須支部長の青木さんにもご参加いただきました。

ふたをかけた水路（暗渠）の上の歩道など、通好みの道を歩いたのちの高畑南公園において、公園そばの倉庫のダクトに止まるチョウゲンボウを発見！みんなでじっくりと観察しました。



スコープを使ってみんなで観察



チョウゲンボウ（オス）を発見。この他、飛んでいるチョウゲンボウの姿も

青毛堀川沿いでも、多くの野鳥を観ることができました。

オオバンのかわいらしい姿や、優雅に空を舞うダイサギに特に注目が集まりました。

また、花崎多目的遊水池でもマガモやミコアイサなど、たくさんのカモたちの姿を堪能しました。



青毛堀川沿いでは、多数の鳥を観察



オオバンの愛らしい姿



花崎多目的遊水池では大量のカモ





なんと、オオタカまで登場です



イトミミズをもってスタッフ A 合流



恒例の認定証授与式



並木を抜けると、そこは池だった



たくさんのヒドリガモの群れ

加須はなさき公園直前では、なんと、オオタカの姿も見ることができました。

加須はなさき公園からは、スタッフのAも合流。水路の泥中から採集したイトミミズをもとに、ミミズ談議に花を咲かせました。

昼食後は恒例の Walk 出現認定証授与式。今回は 1 名の方に認定証が授与されました。

おめでとうございます。

生きている化石ともいわれるメタセコイアの並木を越えた後の鯉の池では、たくさんのヒドリガモに遭遇。

そこら中に、ヒドリガモの緑色の糞が落ちているのをよけながら、その愛らしい姿を観察しました。

最後に今回のコースで何種類の野鳥を観察できたのかを確認したところ、なんと、42 種類も観察できたことが分かりました。

タイトル通りの、行けば鳥飛びコース。次回も楽しいコースをご案内いたします。

2020年もネイチャーウォークをよろしくお願いいたします。